

# 木オだよソ

社会福祉法人 東香会  
しぜんの国保育園 small village

Feb.2024



法人理念  
いきいき

- 子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者
- 永続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める
- 地域で安心して子育てができるように

## 2月主題 人も心も集まって 山に響くはげましの声

1月ってあったのかしら？と思うくらい高速で駆け抜けた年初め。2月ですね。2月は「しぜん谷の村まつり」があります。皆さん、情報第一弾のお習字の文字、見ていただけでしょうか。

こちら、つばき組、たきびチームの島田さんの渾身のお習字です。いい字だなあ、と文字を見るたびに思います。凛としてまっすぐで、美しい。特に「村」の字の流れがいいです。

この「村まつり」、ぜひご家庭の皆さんと保育者と子どもを囲んで、混ざり合いながら、この自然豊かなしぜんの国で、大いに盛り上がりたいと思います。2月に入ったので準備もアクセルを踏んで参ります。

ハレとケ、そしてその間にある「ケガレ」。コミュニティの濃度をグッとあげて、一緒に盛り上がりましょう。心に風を通していきましょう！この日はご家庭の皆さんも祭りの大事な一員です。

園長 齋藤美和

けやき組のKくんが冬休みに描いてくれた「美和さん」の絵です。今前髪をのぼしているのに気が付いてくれていてビックリ！笑顔でうれしいなあ～。



# じむしょ 小窓 だより

もう気づいたら2月。時間が経つのは早いと感じ、一人焦りを感じながら、それをなるべくおさえて「ゆっくりゆっくり」と心で唱えながら過しているこの頃。

先日、けやき組の自然体験で焚き火がありました。呼ばれてもいないのですが、ふらふら～と園庭へと向かうと、たくさんの枝が入った袋を持っている子どもたちの姿を発見。そっと輪の端へ行くと、子どもたちは「やなぎ、いたのね」と言うわけでもなく、自然と自分たちの隣をあけてくれました。自然と輪へいれてくれる、もしかすると何も思っていないかもしれないけれど、気づいたら輪の中へ入れる空気を作りだすけやき組の子どもたちとの時間が心地よくそのまま長居をすることにしました。

焚き火は、スギの葉、細い枝、中ぐらいの枝、太い枝の順に組み立てていくことを教わる場所から始まります。なかなか組み立てられず苦戦しつつも、なんとか小さな山が完成。そこから順番にマッチをすり、火を点けていきます。何度も挑戦して大きな火になる頃には、子どもたちは「私がやりたい」「もう1回つける」などの言葉はなく、わあこぼれる声だけ。そして自然と姿勢が低くなり、手をのばして火をながめる姿へ。すると何を思ったのかこんな会話が始まりました…

「こんなことができるけやきって特別だよ」「これぐらいなら家でもできるよ」  
「でもさ、家には友達はいないよ」「そこはたしかに特別かもね」  
「もっとたくさんできるといいな」「たくさんできたら特別とは言わないよ」  
「今だからか」「今って早いよね」「…そろそろマシュマロ食べる？」



ふとした会話ではありましたが、子どもたちの今の心持ちに触れられたようで、私は子どもたち以上に小さくなりその場にいました。

この時期はたくさんの想いが重なり合う時期でもあります。村まつりに向けてお祭りムードの時もあれば、節分という節目にどきどきすることも。時には、最近の私のように何かに焦りを感じるおとなもいるかもしれません。ですが、今の気持ちに触れる時間はとても大切に、丁寧に掬いたい。だからこそ心を寄せ合い、励まし合いながら過していきたいと改めて感じた時間でした。

マネージャー 柳澤祐希



## 村の春夏秋冬 ～季節のたより・2月～

節分。しぜんの国では早い時では12月頃から、子どもたちの間で飛び交う言葉です。どきどきする、すこし怖い、でもこの日が必要、、、心が少し騒がしくなるのがこの時期らしいですね。

節分とは、季節の分かれ目という意味。寒い冬を越え、新たな気持ちで春を迎える『立春』。ちょうどその季節の分かれ目が節分ということで、昔から大切な日とされていたそうです。

さて、その節分でどうして豆まきをするのでしょうか？

新春を迎えるにあたり、悪いことをひきおこす邪気や冬の寒気を払うためと言われていています。昔はエアコンなど温める機械はなく、死と隣り合わせの生活でもありました。その邪気(死に近い存在)が目に見える形になったのが『鬼』です。その鬼を自分たちの力で追い払う節分の豆まきは、大切な儀式なのです。

豆には霊力が宿るとされ、豆を魔物の目(魔目:まめ)に投げつけると、魔を滅する(魔滅:まめ)ことができると考えられ、豆まきをするようになったそう(諸説あり)

邪気を払い、福を呼ぶためにも。。。「鬼は外！！福は内！！」と声に出す。そして、ますます力が増すという意味の升に豆を入れて、心に宿るもやもや(邪気)をご家族で追い払ってみませんか？

# 保育者 リレー エッセイ part 2

《わたしの好きな言葉》 今月の担当はらーめんチーム担当 角葵さんです。

1人では生きていけないけれど、1人で生きていかなければならない  
1人で生きていかなければならないけれど、1人では生きていけない

— 高校の担任の先生が授業中に話してくれた言葉

…矛盾してるじゃん、と思わず突っ込みたくなる言葉。高校の担任の先生のある日の授業中のフレーズです。村だよりのお話をもらったとき、谷川俊太郎の詩も、星野源の歌詞も、子どもに言われた最近の一言も、わたしの“大切”がたくさん浮かびました。高校生だったわたしには、なんだこの言葉、とどこか引っ掛かっている、今になって自分の軸の中に、じわじわ沁み込んでいます。昨年の夏、美和さんと話していたとき。「みんなで考える”ってよく言うけれど、それぞれで考えて、みんなで考える。まずは自分で考えることってすごく大事だよ」と美和さん。その瞬間に、この言葉が重くなりました。

ぐっと踏み出してみる。上手くいかなくて、悩んで、いつのまにか傷ついたりして。それでもまたやってみようとする。とにかく考える。とことん振り返る。でもわたしたちは1人ではない。集って、混ざり合って、1人で気づかなかったことに気づいて、叶えられる。わたしが今、暮らしを共にしている子どもも大人も、きっとそう。

わたしってどうなりたい？  
これから、どう生きたい？

冬を越えて柔らかな香りが漂い始めるこの頃。不思議とそっと支えてくれる、厳しくあたたかい矛盾です。

## かみじま のんびり 漫画劇場

## 「きこえたよ」

文・絵 かみじまたるひ



INFO

たるおじさんの紙しばい新作「どうぶつさん」YouTubeにて公開！

<https://www.youtube.com/watch?v=EUfgsOWI6Y4>